

も り

# 森林のたより

**伐採・造林の一貫作業システム及び下刈・シカ柵の  
コスト低減に向けた現地検討会を開催しました。**



一貫作業システム等の概要の説明を熱心に聞く参加者

9月20日（木）世附国有林において、当署主催の現地検討会を開催し、神奈川県や県内の市町の林務担当者、林業事業体、近隣森林管理署職員等89名が参加しました。

まず、一貫作業システムの部では、当署職員より今年度から実施している一貫作業システムの概要説明を行った後、実際に作業を行っている林業事業体の現場代理人より感想や課題等について報告がありました。

内容として、「作業で使用する機械は、当初0.25立方メートルで実施していたが大径木には歯が立たず、途中から0.45立方メートルに変更した。最低でもこのクラスの重機が必要」などの感想が報告されました。

また、後半の下刈・シカ柵等のコスト低減の部では、当署職員より当署で実施している下刈状況調査や斜め張りシカ柵の活用による捕獲事業の検討状況などを説明しました。



一貫作業システムの部では、多数の質問がありました。



後半も多数の質問があり、関心の高さが印象的でした。

質疑では、「一貫作業システムは始まったばかりだが、事業体が儲かる仕組みにしてみたい。」  
「経費がどのくらい変わるのか。」  
「継続的に実施し、その結果を情報共有してもらいたい。」などの意見がありました。

今回の現地検討会を通じて、多くの林業関係者が国有林の取り組みに関心を持っていることがわかりました。引き続き検証等を行い、林業技術の向上に努めたいと考えています。

（@へう）

